

かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 45
平成30年12月3日
八頭町立八東小学校
電話71-0108 FAX71-0107

新しい時代はどんな時代でしょうか。
～ 平成もあと、数ヶ月で終わります ～

八東小校長 谷口 道行

早いもので平成30年も、あと、数ヶ月で終わりとなります。来年の5月には、元号も「平成」から、新しい元号に変わります。どんな元号になるのでしょうか。
(子供たちはそれよりも、その前後の10連休が楽しみかもしれません。)

「平成」が終わり、どんな時代が次に訪れるのか。楽しみでもあり、不安でもあります。子供たちが向かおうとする時代が、どんな時代になるのでしょうか。

私個人としては、これまで何度も話してきたように、子供たちには、どんな時代が来ようとも「生き抜く力」をしっかりと持ってほしいと願っています。「つながる子」「うみだす子」「やりぬく子」の3つの姿をしっかりと持つことが、次の時代を「生きる力」「生き抜く力」になります。

さて、今年、様々な研修会に参加し、その中で、自分自身新たな言葉と出会いました。「Society 5.0」です。「Society」という英語には、「(人間を全体として捉えた)社会、世間、(共通の文化・利害を有する)社会、共同体」という意味があります。

この「Society 5.0」みなさん、ご存じでしたか。これからの時代を象徴する言葉として、広がっています。では、なぜ、「5.0」なのか。実は、「Society 5.0」には、これまでの人類の歩んできた歴史の5段階が表現されています。「Society 1.0」は「狩猟社会」、「Society 2.0」は「農耕社会」、「Society 3.0」は「工業社会」、「Society 4.0」は今現在の「情報社会」、そして、やがて次に来る時代が「Society 5.0」です。それは、どんな社会かと言えば、政府はこんな風に定義しています。

「Society 5.0」＝「サイバー空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」。

難しいですね。

具体的に言えば、こんな社会を政府や産業界はめざしています。

- ・IoT(物同士のインターネット)で全ての人と物がつながり、様々な知識や情報が共有され、新たな価値が生まれる社会
- ・少子高齢化、地方の過疎化などの課題をイノベーション(技術革新)により克服する社会
- ・AI(人工知能)により、多くの情報を分析するなどの面倒な作業から人間が解放される社会
- ・ロボットや自動運転車などの支援により、人の可能性が広がる社会

さて、こうした社会が本当に実現するのでしょうか。しかし、気付けば、間違いなくこうした動きは、社会の中に少しずつ表れ、実現されています(自動運転や人口知能など)。時代や社会が間違いなく「Society 5」に向かっていきます。2025年に開催が決定された大阪での万国博覧会は、そうした社会の象徴的なイベントになるでしょう。

これから先、5年、10年。すさまじい勢いで時代が進んでいきます。これまでの緩やかな流れの時代では、なくなってきました。であるからこそ、子供たちには、「学び続ける力」、「自ら学ぶ力」を、しっかりと身につけてほしいです。学校としても、身につけさせたいと努力しています。

是非、各家庭でもう一度、「勉強」「学ぶ」の意味を、子供たちと一緒に考えてみて下さい。

いよいよ、2学期も残すところこの12月だけと成りました。学校への登校日は、今日3日を入れて21日の2学期終業式まで、あと15日です。平成30年の締めくくりをしっかりとしましょう。各家庭でもよろしくおねがいします。

残り少ない2学期を休まず登校しましょう。各家庭での健康管理をよろしく願います。

生活に生かそう(児童集会)

保健委員会・図書委員会・給食委員会から



保健委員会からは、どこにばい菌が多いかと手洗いについての提案がありました。ばい菌については、①髪の毛、②服、③上靴、④ぞうきん、⑤トイレの蛇口、⑥床の6択です。答えは、④のぞうきんでした。

次に、どういう手の洗い方が良いかでは、①ウェットティッシュ、②水、③石けんで軽く、④石けんでしっかり洗うの4択が出されました。答えは④の「石けんでしっかり」でした。手洗いした後の手を専用のシートに乗せ、ばい菌の繁殖状況を見ました。④は、大きなばい菌の塊は全て落ちていました。洗い方により、ばい菌の量の違いにびっくり。

子供たちは今日からきつと、しっかり手洗いすることと思います。

図書委員会では、「またまた、ねずみ君のチョコッキ」という本の読み聞かせを通した間違い探しクイズと何のタイトルの本でしょうクイズでした。6問間違いがありましたが、子供たちは夢中になり、間違いをしっかりと聞き取っていました。

何の本でしょうクイズでは、「〇〇のおつきみ」「〇〇回生きたねこ」「野口英世」「ファール」「エジソン」などが出てきましたが、子供たちはあつという間に、答えを見つけ出してしまいました。

多くの本に、興味が持てるきっかけになったことと思います。本は心の糧、生きる糧となります。多くの良い本に出会って欲しいと思っています。



給食委員会では、給食を好き嫌なく食べてもらうために、食材の役割について説明を行いました。出てきた食材は、「ネギ」「ニンジン」「ゴボウ」「魚」「牛乳」などです。野菜は、食材に含まれる食物繊維により、体の調子を整えます。魚や牛乳は体をつくる基となる、骨や肉をつくります。体の成長にとって、どの食材も大切なものです。好き嫌なく三色をバランスよく摂ることが大切です。

食の字は、「人」を「良」くすると書きます。食を通して、よりよい生活をつくっていかねばなりません。



ワンミニッツエクササイズ

いよいよ12月となり、朝マラソンができない日が多くなってきます。そこで、短時間でできる「ワンミニッツエクササイズ」体操の講習を行いました。いいところは、「いつでも」「どこでも」「簡単に」できることです。

さて、鳥取県の児童は柔軟性に課題があることが新体力テストの結果からわかっています。この体操は、柔軟性を向上させることのできる、リズムカルで楽しい体操です。朝の会、体育の準備運動、ちょっとした運動の前などに行おうと考えています。子供たちが、すぐに覚えて帰ると思いますので、御家庭でも一緒に取り組んでみられたらどうでしょう。

